

事業概要説明シート

事務事業番号 10103060003

事務事業名	自然環境調査事業		
事業開始年度	2011(H23)年度	担当部署	環境保全部 環境総務課

根拠法令	第2次枚方市環境基本計画、自然環境保全法第4条(国には5年ごとの調査が義務付けられている。)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先:公益社団法人大阪自然環境保全協会)		
	<input type="checkbox"/> その他()		

目的 (何のために)	・市域の自然環境の変遷を把握し、環境行政の各施策の基礎資料とする。 ・市民参加型の調査や公開観察会などを通して、多くの市民が市域に残る貴重な自然環境を体感し、自然環境との共生、環境保全の大切さを考えるきっかけとする。		
---------------	---	--	--

対象 (誰・何を対象に)	市民 (対象地域:枚方市内全域、調査対象:植物・ほ乳類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫・魚類・水生生物)		
-----------------	---	--	--

事業内容	専門家による調査のほか、一般市民にも参加可能なテーマ及び地域を絞った市民調査や公開調査会を実施するとともに、調査報告書を作成する。 なお、昭和63年・平成元年に第1回自然環境調査を実施し、以降自然環境保全法第4条に準じ、概ね5年ごとに全域調査(10年に1回)と補完調査(全域調査から5年後)を交互に継続的に実施している。今回は、第5回自然環境調査として、平成23・24年度の2か年をかけて、市内全域を対象に、市民参加型の調査を実施した。		
------	---	--	--

類似事業	なし		
------	----	--	--

事業の必要性	自然環境保全法第4条に準じ、概ね5年ごとに全域調査と補完調査を交互に継続的に行い、市域の自然環境の変遷を把握するとともに、本市の環境行政各施策の基礎資料とするため、今後も本事業が必要である。		
--------	---	--	--

コスト	H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.26人	2,103千円	0.63人	5,040千円	0.00人	0千円
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)	2,103千円		5,040千円		0千円	
直接経費(B)	7,000千円		6,545千円		千円	
総事業費(A+B)	9,103千円		11,585千円		0千円	

財源内訳	H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
		千円		千円		千円
国庫支出金		千円		千円		千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源	9,103	千円	11,585	千円	0	千円

平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内容	金額
	委託料	6,545千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号

10103060003

事務事業名	自然環境調査事業		
事業開始年度	2011(H23)年度	担当部署	環境保全部 環境総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 市民調査、専門調査及びまとめ会の回数	回	59	89	0
	② 市民調査及びまとめ会の参加者数	回	380	456	0
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費/市民調査、専門調査及びまとめ会の回数	円	196,356	130,169	0
	② 事業費/市民調査及びまとめ会の参加者数	円	30,487	25,406	0
	③				
成果目標 (目標とする成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による調査のほか、市民調査や公開調査会を実施し、自然環境の特性や野生動植物の状況の変化を把握するとともに、市民公表用に自然環境調査の報告書の概要版とリーフレットを作成し、自然環境及び環境教育・環境学習への関心と理解を深める。 ・自然にかかわる市民の活動の輪を広げる。 				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	<p>吹田市は、平成22年度(2010年度)から2か年をかけて、自然環境の現況を調査し、その結果を平成24年(2012年)3月に「すいたの自然2011」としてとりまとめた。市全域を対象とする同様の調査としては、前回は、平成14年(2002年)3月に「すいたの自然2001」としてとりまとめている。平成22年度の調査は、前回の調査に多少の改良を加えつつも、当時の調査とほぼ同じ方法・場所で実施した。</p>				
特記事項	なし				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度も第5回自然環境調査を継続実施 ・市民調査結果のまとめ会の開催 ・自然環境状況を把握するため、定期的な調査が必要 			
一次評価結果 (平成24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減の具体策の検討が必要では ・事業内容の見直しが必要では 				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	休・廃止	<p>第5回調査については、平成23・24年度の2か年事業であるため、平成24年度で一旦事業が終了する。5年後の第6回調査(補完調査)については、第5回調査の結果を踏まえ、調査場所及び調査内容等について、検討を行う。なお、本調査は、自然環境状況を把握するため、今後も定期的な調査が必要であることから、10年に1度の市域全域調査、その間の5年ごとの補完調査を今後も継続して行う。また、各調査については、経費節減に向けて、調査場所及び調査内容等の精査を行う。</p>			